

博士前期課程入学者選抜試験日程

◆令和7年10月入学

試験区分		出願期間 (又は最終出願締切)	試験期日 (本学が指定した1日)	合格者 発表日
1. 一般選抜		5月28日(水)～6月10日(火)	7月5日(土)・6日(日)	7月18日(金)
2. 特別選抜	2-1. 随時特別選抜	試験希望日の3週間前 ※最終出願締切: 5月30日(金)	5月7日(水)～6月26日(木) (土・日及び祝日等を除く)	別に定める
	2-2. 推薦入学 特別選抜	2-2-1. 海外在住者対象 推薦入学特別選抜	事前提出締切: 5月14日(水) 出願期間: 5月7日(水)～30日(金)	面談及び書類選考
		2-2-2. 協定校対象 推薦入学特別選抜	※最終出願締切: 6月27日(金)	書類選考
	2-3. 社会人コース特別選抜	5月28日(水)～6月10日(火)	7月5日(土)・6日(日)	7月18日(金)

◆令和8年4月入学

試験区分		出願期間 (又は最終出願締切)	試験期日 (本学が指定した1日)	合格者 発表日
1. 一般選抜		第1回 5月28日(水)～6月10日(火)	7月5日(土)・6日(日)	7月18日(金)
		第2回 9月1日(月)～12日(金)	10月11日(土)・12日(日)	10月24日(金)
		第3回 11月19日(水)～12月2日(火)	令和8年1月10日(土)・11日(日)	令和8年 1月23日(金)
2. 特別選抜	2-1. 随時特別選抜	試験希望日の3週間前 ※最終出願締切: 令和8年1月30日(金)	7月28日(月)～令和8年2月19日(木) (土・日及び祝日等を除く)	別に定める
	2-2. 推薦入学 特別選抜	2-2-1. 海外在住者対象 推薦入学特別選抜	事前提出締切: 11月13日(木) 出願期間: 11月5日(水)～27日(木)	面談及び書類選考
		2-2-2. 協定校対象 推薦入学特別選抜	※最終出願締切: 12月2日(火)	書類選考
	2-3. 社会人コース特別選抜	第1回 9月1日(月)～12日(金)	10月11日(土)・12日(日)	10月24日(金)
		第2回 11月19日(水)～12月2日(火)	令和8年1月10日(土)・11日(日)	令和8年 1月23日(金)
		第3回 令和8年 1月15日(木)～28日(水)	令和8年2月21日(土)・22日(日)	令和8年 2月27日(金)

* 飛び入学や海外の大学を卒業した場合等、出願前に入学資格審査が必要となる場合がありますので、注意してください。
* 上記及びその他詳細について、「Ⅱ. 入学者選抜」で必ず確認してください。

理念と目標

理念 北陸先端科学技術大学院大学は、豊かな学問的環境の中で世界水準の教育と研究を行い、科学技術創造により次代の世界を拓く指導的人材を育成する。

目標

- ・先進的大学院教育を組織的・体系的に行い、先端科学技術の確かな専門性ととも、幅広い視野や高い自主性、コミュニケーション能力をもつ、社会や産業界のリーダーを育成する。
- ・世界や社会の課題を解決する研究に挑戦し、卓越した研究拠点を形成すると同時に、多様な基礎研究により新たな領域を開拓し、研究成果の社会還元を積極的に行う。
- ・海外教育研究機関との連携を通して学生や教員の交流を積極的に行うとともに、教育や研究の国際化を推進し、グローバルに活躍する人材の育成を行う。

アドミッション・ポリシー

本学は、知識科学、情報科学、マテリアルサイエンスを基幹とした先端科学技術分野における学修や研究への強い意欲と明確な目的意識を持ち、自分の考えを的確に表現でき、議論を通じて相互理解に努めようとする態度を持つ者を求めます。その際、学部を持たず大学院のみを置く大学として、過去の経歴や専攻分野にとらわれることなく、大学等の卒業・修了者、外国人留学生及び社会人等を広く受け入れます。

入学希望者は、各々が学士課程等において専攻した専門分野の学習内容を十分修得しておくとともに、本学入学後に行う学修・研究について準備しておくことが期待されます。

上記の求める学生像を踏まえて、入学後に学修・研究を行う上で必要な基礎的な学力・能力や意欲等について、入学後に取り組みたい研究課題に関する小論文、面接（口頭発表及び口頭試問。基礎的な学力等及び学士課程等の専攻分野に関する口頭試問を含む。）及び大学等の成績証明書によって評価して入学者を選抜します。

なお、評価に当たっては、出願書類を参考にしつつ、面接結果を重視します。ただし、推薦入学特別選抜にあつては、原則として、面接を免除し、小論文及び推薦書等の出願書類等に基づき、入学者を選抜します。

ディプロマ・ポリシー

本学先端科学技術研究科先端科学技術専攻では、先端科学技術の確かな専門性ととも、持続可能な社会において求められる幅広い視野や高い自主性、コミュニケーション能力を持つ社会や産業界のリーダーとして活躍できる高度科学技術イノベーション人材を育成することを教育目標としています。

博士前期課程においては、以下の能力を修得し、所定の単位を取得して修士論文等審査及び最終試験又は博士論文研究基礎力審査に合格した者に、基幹となる学問分野（※）に応じて、修士（知識科学）、修士（情報科学）又は修士（マテリアルサイエンス）の学位を授与します。

博士前期課程において修得すべき能力

- ・専門分野における先端科学技術の基礎概念を理解する能力
- ・専門知識を応用して問題発見や問題解決できる能力
- ・学術的、社会的に価値ある研究を主体的に遂行できる能力
- ・専門とは異なる分野や未踏分野に挑戦できる能力
- ・多様な文化に対する理解力、コミュニケーション能力
- ・研究者、技術者としての高い倫理観

※基幹となる学問分野

知識科学：人・組織・社会の課題に対してデザイン方法論、経営学、システム科学などの知見を総合して魅力的な解決策を提案し、その実現方法を考える学問分野。

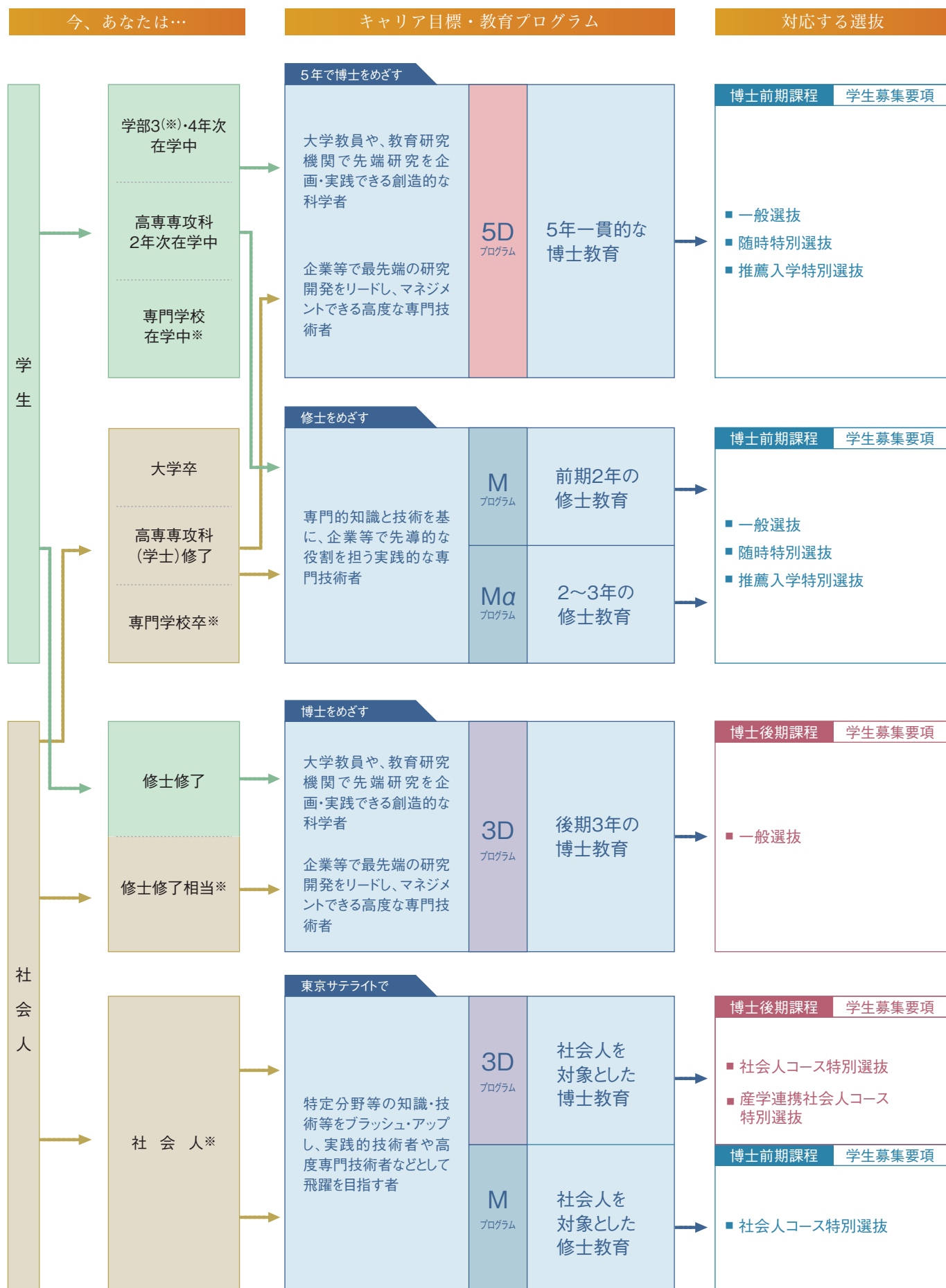
情報科学：情報化社会を支える情報処理・通信に関する技術（ICT）において、人類・社会の課題解決や未踏分野の開拓を目指し、新たな革新的基礎理論・基盤技術・応用を創り出す学問分野。

マテリアルサイエンス：物理・化学・生物及びそれらの関連科学技術を基として、人類・社会の課題解決や未踏分野の開拓を目指して、新たな革新的マテリアルを創り出す学問分野。

研究領域の特徴

研究領域名	概要	キーワード
AI知性 研究領域	人類の深遠な知性を解き明かし、共に成長するAIを研究することで、人類の知性を飛躍的に高める	知性科学、知性の計算理論、AI for Science、人間中心AI、ヒューマン-AI インタラクション、知識構造化、自然言語処理、マテリアルズインフォマティクス、ソフトロボティクス、フィジカルインテリジェンス、コンピュータグラフィックス、画像生成AI、人間拡張、マルチモーダルインタラクション、社会的信号処理
社会システムマネジメント 研究領域	知性が組織を変え、社会を動かす研究を通じて、人類知性の最前線へ理論と実践で、新たな時代をデザイン	知識マネジメント、技術経営、サービス経営、先端科学技術政策、人類知性、システムデザイン、ウェルビーイング、公共の知性、リスクイノベーション、災害マネジメント、都市計画、サステナビリティ、循環経済、資源マネジメント、サービスデザイン人類学、医療政策、ビジネスエスノグラフィ
データ社会メディア 研究領域	「知」の冒険！ 未来のデータ科学、メディア、文化の開拓 創造的想像力を用いた心と体・IT・社会システムの探求	知識科学、データ科学、インタラクション、サイバネティックス、AI、マルチメディア、AR/MR/VR、意思決定科学、心理学、認知科学、教育工学、分析哲学、数理科学、環境科学、システム科学、ネットワーク科学、文化進化、行動変容、CSCW、創造性、集合知、STEAM 教育
コンピューティング科学 研究領域	計算を科学し、計算できることの限界を知り、膨大なデータから正しい結論を導く方法を明らかにする	情報科学、暗号と情報セキュリティ、数理論理学、人工知能、定理自動証明、形式手法、理論計算機科学、データサイエンス、分散システム、アルゴリズム、情報理論
次世代デジタル社会基盤 研究領域	未来の社会を実現し、人類の発展を支える次世代情報システムの研究を推進	スマートシティ、サイバーセキュリティ、IoT、インターネット、情報システム、組込みシステム、ソフトウェアエンジニアリング、形式手法、次世代ワイヤレス・センサー通信、超LSI 設計法、AI プラットフォーム
人間情報学 研究領域	人間の情報処理機構を解明し、より高度な情報処理システムへと応用する	知覚・知能情報処理、社会的信号処理、マルチモダリティ、コミュニケーション、教育・学習工学、ゲーム情報学、自然言語処理、音声情報処理、画像・映像情報処理、ヒューマンインタフェース、知能ロボティックス
メディカルサイエンス 研究領域	未来を創る、医療材料イノベーションの最前線	バイオマテリアル、ドラッグデリバリーシステム、再生医療、ナノメディシン、精密医療、細胞治療技術、次世代がん治療、アンチエイジング
物質化学フロンティア 研究領域	物質化学のフロンティアを開拓し、豊かで持続可能な社会に貢献する	カーボンニュートラル、ウェルビーイング、エネルギー関連材料、環境調和材料、グリーンケミストリー、機能性ナノ材料、高分子、触媒、マテリアルズ・インフォマティクス、先端機器分析
ナノマテリアル・デバイス 研究領域	ナノマテリアル・デバイスの先端科学技術を探め、ウェルビーイングな社会実現を目指す	ナノ粒子×バイオ・エネルギー、ナノワイヤ×スピンデバイス、二次元材料×先端顕微鏡、熱電材料、ナノイメージング×分光、スピントロニクス×量子センシング、半導体エレクトロニクス×デバイス計測技術、有機デバイス×オペランド解析、太陽電池×高寿命化、マテリアルサイエンス×DX・データ
バイオ機能医工学 研究領域	バイオ機能の理解に基づく先端バイオテクノロジー研究とバイオメディカル分野への応用展開	バイオテクノロジー、バイオメディカル、タンパク質、DNA/RNA、生体膜、糖鎖、バイオ分子解析、人工バイオ分子創出、バイオデバイス、遺伝子編集、分子ロボティクス

キャリア目標・教育プログラムと選抜試験



※入学資格審査を要する場合があるので、詳細は、募集要項の各選抜のページで確認してください。